

## 平成 30 年教育福祉委員会会議録

1. 招集年月日 平成 30 年 9 月 26 日
2. 招集の場所 可児市役所 5 階第 2 委員会室
3. 開 会 平成 30 年 9 月 26 日 午前 8 時 32 分 委員長宣告
4. 審 査 事 項

- 1 協議事項

- (1) 意見書について

5. 出席委員 (7名)

委 員 長	田 原 理 香	副 委 員 長	勝 野 正 規
委 員	林 則 夫	委 員	富 田 牧 子
委 員	山 田 喜 弘	委 員	川 合 敏 己
委 員	天 羽 良 明		

6. 欠席委員 なし

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	田 上 元 一	議会事務局 議会総務課長	梅 田 浩 二
議会事務局 書記	服 部 賢 介	議会事務局 書記	山 口 紀 子

○委員長（田原理香君） ただいまから、教育福祉委員会を開会したいと思います。

本日まことに申しわけありません、昨日、事務局のほうからこの意見書の内容をサイボウズで、またファクスで上げさせていただきました。ごらんになっていただけましたでしょうか。

このたび、先日の意見書について出すということは、前回の教育福祉委員会で決まりました。その内容について、きょうは御協議していただきたいと思います。

まずは、お手元にお配りしました学校施設環境改善のための大幅な予算増額を求める意見書（案）をごらんください。

今回、前回とちょっと違うところを申し上げます。また、なぜこのように変えたということもあわせて御説明したいと思います。

私どもは、委員の皆様から、まずはとにかく空調をつけると、暑いということで、どの学校も幼稚園もつけるということが大前提ということで、空調設備の設置促進に向けた財政支援をしてくれということの意見書でした。その財政支援をするということは、国におきまして学校施設環境改善交付金が、この空調設備の設置促進の国からの補助金であります。こういったことは、市の担当の方、または執行部の方々と、どうせせつかくつくるのであれば、やはり市を後押しするような形になれたらいいなというふうに思って、この意見書をいかに有効にするべきものだというふうに考えてやりとりをいたしました。

そうしましたところ、皆さんも御存じのように、可児市としては、この蘇南中学校の大規模改修、それから外国籍の子供たちを含めた児童・生徒の増加による教室増が必要だということ、それから通訳サポーターの増員ということも喫緊の課題として可児市は抱えております。この同じ大規模改修や教室増や通訳サポーターの増員というのも、いずれも先ほど申しました学校施設環境改善交付金と同じ枠のものでございました。補助金の枠は同じものでございました。であれば、空調だけを言うのではなくて、この学校環境改善のための補助金の予算の枠をとにかく増額してくださいよということでのお願いに変えました。

また、空調については、小学校、中学校においては普通教室についていて、特に私たちは屋内運動場や特別教室にもつけたいということにすると、さらにさらにこの交付金の枠がふえることが求められることです。また、やりとりしましたところ、リースはどうだろうかとか、この交付金について空調におきますと1件400万円以上じゃないとだめだとか、いろんな縛りもあるようですので、ここにおきましては、予算増額と多種多様な施策、自治体には環境改善のことでいろんなことを地域によっては施策としてお願いをしてきているわけですが、多種多様な施策に活用できるような基準を求めますというところで、使い勝手がいい交付金増額ということをお願いするということに変えたところがございます。

内容におきましては、この中に盛り込んだものとしましては、市がどういうふうな子供たちを育てたいと思っているのか、子供たちを育てていくには何が必要となっているのかということもあわせて意見書を副委員長と相談してつくらせていただきました。

読み上げますので、お聞きください。

教育をとりまく環境は、国際化、高度情報化などの社会変化に対応した学校教育の推進や教育環境の整備促進、さまざまな教育諸課題に対応していくことが求められています。

子どもたちには、新しい時代を生き抜くために、時代が求める資質、能力を身につけていくことが必要とされます。

本市においては、学力向上を図ることはもとより、人と人の関わりや様々な経験を重ねる中、子どもたちの感性を育て、延いては「地域を支える子どもたち」となるよう、教育環境の充実に向けて努力をしているところです。

一方で、学校施設の老朽化による大規模改修、外国籍の子どもたちを含めた児童生徒の増加による教室の確保や通訳サポーターの増員も喫緊の課題となっており、更に、近年の猛暑における空調設備設置対応も強く迫られています。

こうした多様な子どもたちの教育環境の整備を進めるためには、地方財政の厳しい現状を考えると、国からの財政支援は必要不可欠です。

従って、学校施設環境の改善のための大幅な予算増額と多種多様な施策に活用できるような基準を求めます。

明日を担う子供たちを育てる上で、国におかれましても、ぜひご検討をお願いいたします。

記、教育環境の維持向上を図るため、学校施設環境改善のための大幅な予算増額をすること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出いたします。平成 30 年 9 月 27 日と  
いうことの内容でございますが、まず皆さん、この件につきまして御意見ございますでしょうか。

○委員（富田牧子君） 1つだけお伺いするんですけど、この前意見書を出すときに、トイレの件も実はやったほうが良いというお話をしておきまして、教育環境の整備ということで一遍は言ったりしたことがあったんですけど、ああいう形で意見書になって、これはこれで私は結構だと思うんですけど、お聞きしたいのは、学校環境改善のその予算の中には、例えば洋式トイレ化の分もやっぱり含まれるんでしょうか。

○委員長（田原理香君） これは国の中ではなくて、今この気持ちの中に入っているかどうかということですか。

○委員（富田牧子君） いや、国の枠にそれも入るんなら、大変結構なことだなというふうに思って質問しておるわけです。

○委員長（田原理香君） 調べましたときに、さまざまなことが書いてありますが、トイレは書いてあったような気がして、これだったらいいやと何か頭をかすめた覚えがありますが、いずれにしても、万が一もし入っていなかったとしても、多種多様な施策に活用できるような基準というところに対応できるんじゃないかなというふうに考えます。

多分トイレというのは、文言はあったかというふうに思います。それはまた調べます。

○委員（富田牧子君） そういうことなら本当にもっと幅広くなったので、私としてはこれを

出していただいていたいいんじゃないかと思うんですけど。

○委員長（田原理香君） ほか、皆さん御意見いかがでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、皆さんからの同意が得られたものと思いますが、この意見書を教育福祉委員会から提案としてこの後行われます議会運営委員会に提出することといたしますが、よろしかったでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございます。

それでは、提出をいたします。

以上で、本日の案件は全て終わりました。

そのほか何かございますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

きょうは朝早くおいでいただきまして、まことにありがとうございました。発言もないようですので、これにて教育福祉委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午前8時41分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 30 年 9 月 26 日

可児市教育福祉委員会委員長